

観光調査法Ⅰ

科目ナンバリング STS-101

選択必修 2単位

花井 友美・小笠原 永隆・飯塚 遼

1. 授業の概要(ねらい)

「観光」という現象を理解するのに調査は有用な手法である。しかし、適切な方法で実施しないと、誤った結論を導くことがある。本授業では、調査とは何か、調査の意義を説明したうえで、様々な調査技法(質問紙調査、インタビュー調査、観察など)を概観するとともに、特に質問紙調査の特徴と実施方法について説明する。その上で、受講者は、演習形式で仮説検証型調査を前提とした質問紙を作成していく。
※学修効果の促進のため、授業は講義形式と演習形式(グループワーク)をミックスして行う。

2. 授業の到達目標

質問紙調査の特徴を理解する。

- ・質問紙調査が有効な場面を説明できる。
- ・質問紙調査の実施手順を説明できる。

仮説検証型調査を前提とした質問紙を作成できる。

- ・仮説を立てることができる(調査テーマは事前提示)。
- ・仮説を検証するために必要な質問項目を作ることができる。
- ・一般的な質問紙の構成を理解し、WordまたはExcelを使って質問紙を作成できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業内の演習課題(ワークシート、レポート、質問紙) 60%

授業内の総合試験 40%

4. 教科書・参考文献

参考文献

轟亮・杉野勇 (2017)『入門・社会調査法[第3版]: 2ステップで基礎から学ぶ』 法律文化社

小田利勝 (2009)『社会調査法の基礎』 プレアデス出版

張 長平 (2014)『観光分析計量的アプローチと応用』 古今書院

5. 準備学修の内容

授業後には、授業内容や授業中に指示された事項について復習すること。

演習の前には準備課題(例: 質問紙調査のテーマに関する情報収集、質問項目案の作成)を提示するので、事前に準備課題を行うこと。

6. その他履修上の注意事項

学修効果の促進のため、授業は講義形式と演習形式をミックスして行う。講義時と演習時で教室が異なるので注意すること。

演習はグループワークで行う。第3回目の講義時にグループ分けの発表を行う。

講義時の私語及び雑談は厳禁。

演習時は活発な議論及びグループワークへの積極的な参加を期待する。

受講者の内容理解度などにより、授業の進捗具合は変更の可能性がある。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション／調査とは【講義形式】
- 【第2回】 様々な調査法の特徴【講義形式】
- 【第3回】 調査テーマの発表と説明／クラス分け発表【講義形式】
- 【第4回】 インタビュー演習(1)～アポイントから実施までの手順のシミュレーション【演習形式】
- 【第5回】 インタビュー演習(2)～半構造化インタビューの体験【演習形式】
- 【第6回】 仮説検証型調査とは【講義形式】
- 【第7回】 仮説の設定(1)～アイデア出し【演習形式】
- 【第8回】 仮説の設定(2)～アイデアの文章化【演習形式】
- 【第9回】 質問紙の構成と調査倫理【講義形式】
- 【第10回】 質問項目の作成の仕方(1)～ワーディングの注意【講義形式】
- 【第11回】 質問項目の作成の仕方(2)～変数と回答形式の種類【講義形式】
- 【第12回】 質問項目の作成(1)～質問項目案の作成【演習形式】
- 【第13回】 質問項目の作成(2)～質問項目案の確認【演習形式】
- 【第14回】 調査対象の抽出と調査票の配布・回収方法【講義形式】
- 【第15回】 総合試験と振り返り